



2022年11月11日

各位

会社名 株式会社 AKIBA ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 馬場 正身  
(東証スタンダード・コード番号 6840)  
問合せ先 取締役管理本部長 五十嵐 英  
(TEL. 03-3541-5068)

### 2023年3月期第2四半期連結業績予想と実績の差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年8月10日に公表しました2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績値の差異、及び通期連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,000	250	225	150	16.33
今回実績 (B)	6,677	459	422	276	30.12
増減額 (B - A)	△322	209	197	126	
増減率 (%)	△4.6	83.7	87.9	84.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	7,559	186	188	96	10.47

※2021年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2022年3月期の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。下表で記載しております1株当たり当期純利益についても同様です。

#### 2. 差異の理由

売上高につきましては、メモリ製品製造販売事業においてPCメーカー向けのメモリ販売が低調に推移したことから予想を下回る水準となりましたが、利益においては、通信コンサルティング事業において利益率の安定している3Gから5Gへのマイグレーション工事など各種通信建設工事が順調に拡大していること、HPC事業が売上高も増加し売上総利益率も回復してきていること、その他セグメントの旅館事業(以下「旅館事業」といいます)が順調に収益化してきていること等から利益率が向上し、業績予想を大幅に上回る結果となりました。

### 3. 2023年3月期通期連結業績予想値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,500	百万円 650	百万円 640	百万円 350	円 銭 38.10
今回修正予想 (B)	15,000	780	740	460	50.08
増減額 (B - A)	△1,500	130	100	110	
増減率 (%)	△9.1	20.0	15.6	31.4	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	16,166	721	711	382	41.62

### 4. 修正の理由

当社業績の推移においては、「1. 2023年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異」に記載の傾向が続いており、PC メーカー向けのメモリ販売が引き続き低調である一方、通信コンサルティング事業、HPC 事業及び旅館事業が好調に推移しており、売上高は伸び悩むものの、利益率が相対的に向上し、費用の増加を加味しても営業利益、経常利益とも増益が見込まれる状況となっております。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益、経常利益の増加に加え、繰越欠損金の影響により法人税等の負担率が低下することで期初の業績予想を上回る見込みとなりました。

以 上